

家々の書ふよきをいふそのいふは  
宗税税使老人病者の書は格別  
いふよきも多著るよき味下を飲さ  
るるの味仍く今をいふ酒一  
論一重の総く農民くそのよき  
書付く名能くいふ書き事肝要  
よき村々領ち共ふるたを数多書

写すへあれいおのつりく誤字脱字も  
いんくを忌道改く板小刻せせい  
名之組改亦い勿違小前平百姓の内も  
年長の者も常々厚く人を世話  
いふいふ事いふいふてい續物は書  
おと教ふる者も彼一い書いふ  
村民いりい續きうせ為よ能く教諭

世一印巻きこその也

壬辰九戌戌歳朔

山本大膳藏版